



校長室より① “学校教育目標”「未来に向かってかがやく子どもの育成」

下記に示しているのは、学校経営図です。花が子どもたち。未来に向かってかがやく子どもたちに育てていくために葉っぱのような力を身に付けさせたいと思っています。

やさしい子 たくましい子 すすんで学ぶ子

本校の取組の大きな特徴、強みはやさしい子に位置付けているPBIS活動です。

PBIS活動というのは、Positive Behavioral Interventions and Supports

訳すとポジティブな行動介入と支援。望ましい行動を増やし、できたら賞賛し、行動を強化する。平たく言うと子どもたちのやさしさやがんばり、よい行いを互いに認めたいこうというものです。そうすることでこの世にたった一人しかいない自分、他者を大切に思う気持ちが育ってくれたらと思っています。昨年度も各学年の教室や廊下に写真や文章で足跡を残していきました。学校全体で取り組んだくすの葉は、子どもたち自ら企画した子どもくすの葉、教職員同士で一年間のがんばりを認め合った教職員くすの葉と合わせて1844枚になりました。



そして、我々子どもたちのまわりにいる大人の役目は…

子どもたちが安心して根を張る大地が家庭

昼も夜もすうっと子どもたちを見守る空が地域

日中子どもたちを照らす太陽が学校

タイミングよく栄養を注ぐ水が教職員

それぞれがそれぞれの役割を果たした上で繋がる。

連携していくことを大切にしていきたいと考えています。ゴールは同じです。子どもたちをよりよく育てる事です。このゴールさえ見失わなければ、保護者の方とずれることはないと思っています。子どもたちにとって何が大切で、今何が必要か一緒に考えながら子どもたちを育てていきたいと思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。